

- 妊娠 20 週以降にはじめて高血圧(収縮期血圧 140 mmHg 以上もしくは拡張期血圧 90 mmHg 以上)が発症し、かつ蛋白尿(基本的には 300 mg/日以上)を伴うもの。
- 妊娠 20 週以前で高血圧がある場合は加重型妊娠高血圧腎症か本態性高血圧合併妊娠である。

表 2 妊娠高血圧症候群(PIH)の病型分類

i) 妊娠高血圧 gestational hypertension (GH)

妊娠 20 週以降にはじめて高血圧(収縮期血圧 140 mmHg 以上もしくは拡張期血圧 90 mmHg 以上)が発症し分娩後 12 週までに正常に復する場合

ii) 妊娠高血圧腎症 preeclampsia (PE)

妊娠 20 週以降にはじめて高血圧(収縮期血圧 140 mmHg 以上もしくは拡張期血圧 90 mmHg 以上)が発症し、かつ蛋白尿(基本的には 300 mg/日以上)を伴うもので分娩後 12 週までに正常に復する場合

iii) 子癇 eclampsia

妊娠 20 週以降にはじめてけいれん発作を起こし、てんかんや二次性けいれんが否定されるもの、けいれん発作の起こった時期により、妊娠子癇、分娩子癇、産褥子癇と称する

iv) 加重型妊娠高血圧腎症 superimposed preeclampsia

a) 高血圧が妊娠前あるいは妊娠 20 週までにすでに認められ、妊娠 20 週以降蛋白尿を伴う場合

b) 高血圧と蛋白尿が妊娠前あるいは妊娠 20 週までに存在し、妊娠 20 週以降、いずれか、または両症状が増悪する場合

c) 蛋白尿のみを呈する腎疾患が妊娠前あるいは妊娠 20 週までに存在し、妊娠 20 週以降に高血圧が発症する場合

(文献 1), 2) より改変引用)